

労働新聞

社団法人労働新聞社
九五町南平島島
次 藤 藤 伊 人行 登
一 港 古 町 濱 小 島 島 島

刊夕日七十月六

一ヶ月 三十銭
一 部 二 銭
廣 告 料 一 行 五 十 銭
場 所 指 定 十 銭 増
日 曜 祭 日 翌 日 休 刊

小名濱火葬場

着工近づく

營繕費八千圓

小名濱町火葬場は来る土曜、一般からの來會者廿五日營繕費八千圓で着工を歓迎してゐるが會費は營繕費に充てられ、本日請負契約書を手渡した十九日午後二時から敷地の玉川村住ヶ谷地に盛大な地鎮祭を挙げる事になつた。

總坪數三百坪、二棟であり、火葬爐は電氣仕掛けになる為東京中央土木株式會社に依頼した。

佐藤代議士

送別會

廿日住吉本店で郡選出佐藤庄太郎代議士はベルギーに開かれる萬國當の備を見られる際、議員會議に出席のため來る從業員の意氣は將に天を衝くがその行を祝つて廿日午後一時から盛んな送別の宴が催されることになつた

場所住吉本店、發起人は貴族院議員金成通氏、鈴木代議士を筆頭に木村清治、井上縣議、小野晋平氏等名十四日小名濱港に入港の帝

小名濱大敷網

連日大豊漁

既に十萬圓突破
小名濱町高橋大敷漁場にて國巡洋艦那珂は十六日早朝撈主任は今回新任郷里に歸る為、大敷網を引上げた。この大敷網は、八月十四日の水揚げ額九萬九千餘圓に達し、十六日迄に陸揚げした。八千餘圓に達し、陸揚げした。八千餘圓に達し、陸揚げした。

義理固い

中山水試場長宛に禮状と贈り物

十六日午後六時四十分頃

大炭礦の試掘

掘願許可

江名町マルゴ商店のナマリ製造所から發火折柄夕食時の附近の人々を驚かせたが近所の男達は焼ける屋根上で消火に奮戦、お神さ錦、勿來を被ふ七十萬二千坪、入山炭礦出願に係る場を運びで大事に至らず廿五分位で鎮火ホット安心。本、磐崎を合した卅二萬三千坪の石炭試掘は数日前許可された。

磐城丸無電

十六日午後六時着電

十六日午後六時着電、其の後も魚群を見ず。六時北卅四分、水温廿四度五分、水温廿一度、色良好、天候晴。南東の風力一、今朝七時着電。昨夜六時半着電、今朝四時半より調査中なるも魚群を見ず、只今野島、水溫廿四度五分、水温廿一度、色良好、天候曇、南風。他船多し。

小名濱水試場に

漁撈主任と助手赴任

小名濱水産試験場辻野漁撈主任と助手赴任。小名濱町高橋大敷漁場にて國巡洋艦那珂は十六日早朝撈主任は今回新任郷里に歸る為、大敷網を引上げた。この大敷網は、八月十四日の水揚げ額九萬九千餘圓に達し、十六日迄に陸揚げした。八千餘圓に達し、陸揚げした。

江名隣保館

昨日上棟式

江名町隣保館は先月來着工建築進捗中であつたが十六日午後六時四十分頃

ボチ公お手柄

四百五拾圓を拾ふ

この世智辛い世の中に四五百圓札四枚と拾圓札五枚、合計四百五拾圓が拾ふた。平町四丁目雜貨店隣保館警察に届け出たが何しろボチの主人橋本義司君(三三)がチは福の神だといふので、今日十七日の正午頃愛犬ボチれ牛肉を食せさせ、やれに盡く飯をやらうと犬小屋錢湯へやつて奇麗に化粧をみがあるのを見て見ると、お手柄、手の切れるや

混雑の小名濱で

お手柄の

軍艦入港で混雑の小名濱町。小名濱町左近方難舎より難十町で捕物劇去十二月同町三羽鳥取し深査中の曲者で、字野野左工門、小野定一、郎方に手傳に來てゐた北海道生れ通稱北海道と和島久一(三三)は家人が甚食中の隙をうかがい、賣留金廿圓五錢を強奪し逃走行方をくらませたので捜査中の處十四日午後一時頃同町菊屋飲食店に立廻つたところを吉田中グラウンドに華々しく開請願調査が逮捕し直に平署に護送したが此奴は東京で強盗を働き仙臺の宮城刑務所に五年勤めて出た許りから帽がその間を脱してまた相違罪ある見込みである。他の一件、本籍崎玉縣入間郡所澤町字有樂町生れ常時住所不定、俗稱花屋、石田久次は去日小名濱町横町大黒屋で無銭飲食の上逃走、十二日午前十一時頃同町小名濱に立廻つた處を張

野球リーグ戦

四中等校

四中等校野球リーグ戦。昨日は日曜と快晴に恵まれ、午後一時頃同町菊屋飲食店に立廻つたところを吉田中グラウンドに華々しく開請願調査が逮捕し直に平署に護送したが此奴は東京で強盗を働き仙臺の宮城刑務所に五年勤めて出た許りから帽がその間を脱してまた相違罪ある見込みである。他の一件、本籍崎玉縣入間郡所澤町字有樂町生れ常時住所不定、俗稱花屋、石田久次は去日小名濱町横町大黒屋で無銭飲食の上逃走、十二日午前十一時頃同町小名濱に立廻つた處を張

濱たより

小名濱 魚市場調査
魚名 魚獲高 單價
アダイ 五百五十圓 三圓
イナダ 五百五十圓 三圓
サバ 五百五十圓 三圓
イサナ 五百五十圓 三圓
カサゴ 五百五十圓 三圓
カマメ 五百五十圓 三圓
カサゴ 五百五十圓 三圓
カマメ 五百五十圓 三圓
カサゴ 五百五十圓 三圓
カマメ 五百五十圓 三圓
カサゴ 五百五十圓 三圓
カマメ 五百五十圓 三圓

天気豫報

小名濱測候所發表
明日 南の風 曇り
南風 曇り 雨模様
氣温 七五・五七・七二
「南の風強かるべし」

常磐文藝

文化人の涙
春岡芳雄
タイムを失つた
生活は——
文化人のため息だ。
十字路でつかまつた
オートモビルは
スピード文化の奇蹟だ
分秒も
ゆるみなく走る生活は
神経衰弱者の
製造をいそぐ。
ジャズ
ネオンサイン
白粉のいざれ

追憶の心の空にけぶる想
あわれ小きき胸
ひそかに泣きで
うつむける
水色の愁、我が心
濱邊
春風樂人作
君を忍びて濱邊に立てば
今宵も淋しき流れ星
鷗の聲さへ哀れに聞ゆ
濱邊の小花をかきめ行く
優しき風の過ぎる頃
遠く眺める東都の空を
我が此の心を知るや若
斬馬劍
北面 武士
底馬船いよ／＼禁漁期と
なる。
船主でございと大きく構
へる前に先づこの期間活用
法を考へることだ。三ヶ月
も悠々遊んで經濟逼迫でも
あるまい。

初夏の山路
笛子
初夏の夕暮
ゆううつな細き山路を
歩めば空に唯泪色の月
ふと懐しき山かげの小屋に
歩みたれどひそかに涙し
ひみやかな歩みはつゞけり
泪色の月は我が後を追へり
ひやりと手にさわりし
かたわらの名もなき
草をかみて思ひしは
とほき昔の人の面影
忘れ秘めしを今

折戸埋立地問題に關し江
名町議連名の堂々たる聲
明。
こうなると覆面はうつと
うしいですなあ。

銘酒は
清世界
本店水屋清 元買發
番六話電町濱名小

魚市部
三井生命保險株式會社
大正火災保險株式會社
代理店
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番

高一般級
化醫一
療般藥賣
器器品品
寶屋藥舖
小名濱町古港
電話三十九番

眼科専門
鈴木科醫院
本院植田町
分院小名濱町古港

内科外科
耳鼻咽喉科
宮津醫院
小名濱町 電一四二番

親切 KS 第一
船用電氣
各種發電機
各種蓄電池
捲替修理
各種電球
販賣
ケーエス商會
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
店主 小濱敬太郎
電一五九

技術流行型揃安價迅速に
御注文に應ずる
皇恩會
小松洋服店
小松 正治
平町才植小路十二

防コ
工エ
寫工
計寫
防コ
工エ
寫工
計寫
防コ
工エ
寫工
計寫

資生堂
小名濱町中島電話一四七番

風景、人像
美術
御寫眞
尾城寫眞館
小名濱中島
電話一〇四番

臨時家政婦速派
會員は何れも身元確實、婦人らしき誠實の人々を
至極お安く遠近を問はず差上げることが出来ます
派出多忙に付會員募集
年令満十八才以上學歷を問はず誠實な婦人を望む
向々の仕事に派出する事が出来ます、寄宿舎の便
もありません。
一、お産前後の御手傳ひ
二、御病人様のお付添
三、其他御家庭の凡べての御用
小名濱町橋本十二(小野新聞店裏)
小松派出婦人會
會主 産婆 小松 幸子
電話四八番

配達夫募集
資格：高等二年生、又は
中等學校生徒にして平町
在住者
勤務時間：午後四時より
申込は平町南町
昭和活版所宛
刊常警新聞社